

各 位

会 社 名 P C I ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 原口 直道  
 (コード番号: 3918 東証第一部)  
 問 合 せ 先 取締役経営企画本部長 井口 直裕  
 (TEL. 03-6858-0530)

平成 30 年 9 月期 第 1 四半期決算短信補足説明資料

当社が平成 30 年 2 月 6 日に開示いたしました「平成 30 年 9 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」につき、以下のように補足します。

1. トピックス

- 【2桁増収】 参入障壁の高い車載制御系案件の受注拡大。金融機関向け案件及びSalesforce関連案件も好調に推移。国内外半導体市況の好況継続も大きく影響。
- 【先行投資】 効率的なグループ経営を企図した本社移転費用（事業子会社含む）、規模拡大を目的としたM&A費用、人材の戦略的配置（新規事業、採用）を一挙に実施。
- 【研究開発】 得意とする組込み・通信制御技術の応用に加え、「IoTセンサープラットフォーム高分解能ADCモジュール」開発にも投資。「IoT/IoE社会=Connected World」への貢献を見据えた先行的開発を実施。

2. 業績推移

好調な事業環境と M&A が奏功し、売上高は 3,210 百万円（前年同期比 25.7%増）となった。背景には、新技術を活用した新付加価値創造、情報セキュリティ意識の顕著な高まりがあり、IT エンジニアの需給環境は継続して良好。

営業利益並びに経常利益は、グループ再編投資（本社移転、M&A 費用等）や内部体制充実（AppGuard® 事業部設置、グループ採用開始等）の影響から 60 百万円（前年同期比 72.7%減）で着地【表】。

なお当期利益は、Inspiration 株式会社の全株式売却利益（99 百万円）により前年比 12.8%増。

【表】

	平成28年9月期 第 1 四半期	平成29年9月期 第 1 四半期	平成30年9月期 第 1 四半期
売上高 (前期比増減)	2,063 (-)	2,554 (23.8%)	3,210 (25.7%)
売上総利益 (前期比増減) (売上比)	479 (-) (23.2%)	633 (32.3%) (24.8%)	749 (18.3%) (23.3%)
営業利益 (前期比増減) (売上比)	160 (-) (7.8%)	222 (38.8%) (8.7%)	60 (△72.7%) (1.9%)
経常利益 (前期比増減) (売上比)	161 (-) (7.8%)	223 (38.3%) (8.7%)	80 (△64.0%) (2.5%)
当期利益 (前期比増減) (売上比)	104 (-) (5.1%)	140 (34.0%) (5.5%)	158 (12.8%) (4.9%)

### 3. 通期予想

平成 30 年 9 月期の通期業績予想値は、売上高 13,300 百万円（前期比 16.7%増）、営業利益 720 百万円（前期比 0.4%増）と据え置き【グラフ】。

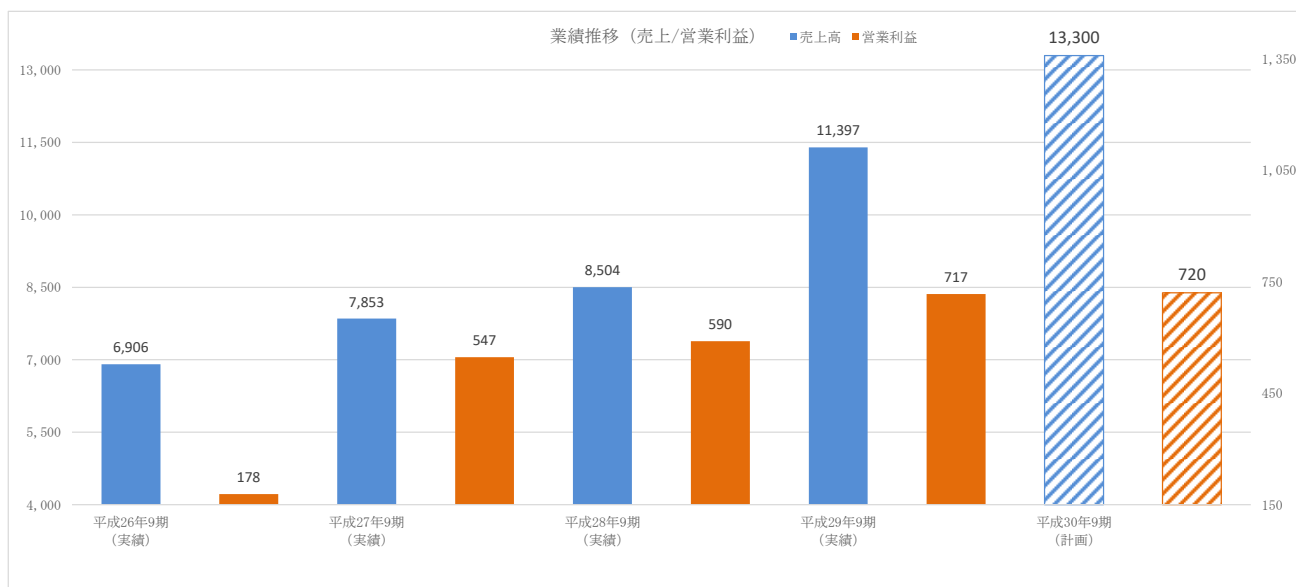
売上高は、前事業年度のグループ再編（株式会社シスウェブ及び株式会社シー・エル・シーの子会社化）の通期寄与により、当第 1 四半期の Inspiration 株式会社の全株式売却による連結業績への影響を吸収。

営業利益は、従来下期弱含みであったが、株式会社シー・エル・シーの収益構造が上期偏重（売上高の上下比率は、およそ 2：1）である影響もあり、その傾向が顕著。さらに、第 2 四半期以降は、オフィス賃料の増加及び移転関連コストを押し下げ要因として織り込む。

他、平成 29 年 12 月に子会社化した株式会社りーふねっとの業績貢献、本社並びに子会社機能の集約に係る移転関連費用一式については、当期業績に与える影響を精査中。

なお、平成 31 年 9 月期以降は、当社並びにグループ子会社の効率的なグループ間事業活動による早期改善を予定。

#### 【グラフ】



以上